２０２５．１０．１０

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」

２０２５年　上半期

（１）国　内 -- ２
（２）韓　国 -- ６
（３）台　湾 -- ７
（４）中　国 -- ８
（５）米　国 -- １０
（６）欧　州 -- １１

日本化学繊維協会
(お問合せ先　業務調査グループ　TEL　03-3241-2313)

概　　　　要
（2025 年上半期）

2025 年上半期の実質 GDP 成長率（年率換算、前期比）は、1-3 月期は 1.7％増。4-6 月期 2.2％増で 5 四半期連続のプラス成長であった。

当期の日本経済は、原材料価格の高止まり等による物価上昇で個人消費の停滞が顕在化、また、対米輸出関税が引き上げに向かうなか自動車や鉄鋼等の基幹産業の輸出への影響の懸念が表出した。一方、インバウンド需要は堅調を維持し低迷する内需を支えた。

内需は、実質賃金の上昇が短期的には期待できないなか個人消費の停滞感が続き、生活必需品にとどまらず衣料品を含む一般消費財、住宅等の耐久消費財と広範囲にわたり消費低迷が色濃くなった。

繊維需要は、衣料用向けは総じて低調に推移、非衣料用は自動車用繊維資材の需要は堅調を維持したが、住宅着工の低迷などで建築関係やインテリア関係の繊維需要は低調に推移した。

国　　内

１）衣料用：2025 年上半期の百貨店、量販店での衣類販売は、インバウンド需要に支えられてきた百貨店は減少に転じ、前年から減少傾向にあった量販店では実需段階での消費低迷を反映し下げ止まり感を孕みつつもマイナスが続いた。

家庭・インテリア用：新規住宅着工件数が低調に推移し、インテリア・寝装需要も弱含みで推移した。家庭・生活資材用途はマスク等の需要は底堅いが、紙おむつ関連需要は末端製品価格の顕著な上昇にともない消費への影響が懸念されている。

産業資材用：自動車生産は 2025 年初旬まで顕著な増産傾向にあったが、3 月以降は下期の対米輸出関税の引き上げを視野に抑制傾向となった。カーシートやエアバッグなど自動車用繊維品需要は自動車生産に沿う形で推移したが、原材料コスト増加の影響は大きい。新規住宅着工は減少傾向が強まり、建築受注は全体では堅調に推移したが公共投資関係の受注は年央から減少傾向にある。原材料価格高騰もあり住宅・建築向け繊維資材の業況は厳しさを増している。

２）繊維工業の生産活動は、近年の減産傾向が更に強まった。第 2 四半期の生産指数は、繊維工業全体では 90.9 と前年同期（93.5）から下落。そのうち、化学繊維を含む繊維は 87.8 と前年同期に比べ 5.8 ポイント下落した。織物は 112.5 で増勢を維持している。染色整理は 95.7 で横這いの状況が続いた。

繊維需要関連の各種指標

（前年比増減：%）

	百貨店 衣料品売上	量販店 衣料品売上	自動車 生産	新規住 宅着工	建築 受注
2021	3.5	-1.9	-2.7	5.0	2.0
2022	14.2	4.0	-0.2	0.4	7.1
2023	10.1	0.9	14.9	-4.6	-3.1
2024	6.2	-5.4	-8.5	-3.3	9.9
2025 上半期	-3.4	-0.7	7.1	-7.5	8.7

繊維工業の段階別生産指数

（2020＝100）

	繊維工業 全体	繊維	織物	染色整理	繊維製品 粗製品
2023年第3四半期	95.2	96.7	108.4	102.1	83.3
2023年第4四半期	94.6	92.8	106.3	99.9	85.1
2024年第1四半期	88.3	85.7	102.3	94.7	81.8
2024年第2四半期	93.5	93.6	105.7	97.5	83.7
2024年第3四半期	93.8	93.5	109.4	94.7	83.2
2024年第4四半期	93.3	90.0	113.0	96.0	79.5
2025年第1四半期	91.1	89.4	113.0	95.8	79.1
2025年第2四半期	90.9	87.8	112.5	95.7	78.2

３）繊維品輸出は、ドルベースで40.2億ﾄﾞﾙ・前年同期比（以下同じ）7.1%増、一方、円ベースでは5,965億円・4.2%増となり、ドルベース、円ベースともに増加となった（数量ベースでは3.0%増）。

形態別（円ﾍﾞｰｽ）では、繊維原料598億円・22.2%減、糸類654億円で前年並み、織物1,479億円・2.8%増、二次製品他2,634億円・1.4%増となった。

仕向地別（円ﾍﾞｰｽ）では、全体の23%のシェアを占める中国が3.4%減の1,345億円。韓国（17.9%増）、台湾（11.1%増）はいずれも増加したが、香港は23.1%減となった。アセアン地域は、ベトナム（9.2%増）、タイ（11.7%増）、インドネシア（7.2%増）など主要仕向地は増勢、全体で9.5%増の1,558億円、シェアは26%で中国を上回った。米州は0.8%減、欧州は8.8%増となった。

４）繊維品輸入は、ドルベースで162.5億ﾄﾞﾙ・前年同期比（以下同じ）7.6%増、円ベースは2兆4,167億円・5.4%増。

形態別（円ﾍﾞｰｽ）では、繊維原料478億円・0.8%減、糸類699億円・2.4%増、織物740億円・2.2%減となった。二次製品他は2兆2,229億円で5.8%増、そのうち、主力の衣類は9.0%増となった。

仕出地別では、最大の中国が1兆1,631億円で1.8%増となったが、全体シェアは48%で過半を割った。韓国は1.9%増、台湾は3.9%増となった。アセアン地域

は、ベトナム（12.4%増）、インドネシア（0.5%増）、タイ（2.0%増）と総じて増加、全体では10.7%増となった。アセアンのシェアは33%となった。欧州は1.4%増で増勢を維持したが、米州は4.3%減となった。

繊維品輸出・輸入実績

項目		単位	2024年	2024年 1〜6月	2025年 1〜6月	前年比（%）
輸出計		1000ﾄﾞﾙ	7,854,946	3,757,345	4,023,812	7.1
		百万円	1,189,949	572,176	596,492	4.2
	繊維原料	百万円	132,425	76,790	59,775	-22.2
	糸類	百万円	132,492	65,359	65,362	0.0
	織物類	百万円	299,315	143,955	147,946	2.8
	二次製品	百万円	543,552	259,705	263,355	1.4
輸入計		1000ﾄﾞﾙ	32,566,914	15,099,656	16,248,691	7.6
		百万円	4,920,960	2,293,623	2,416,660	5.4
	繊維原料	百万円	96,211	48,163	47,767	-0.8
	糸類	百万円	137,422	68,279	69,935	2.4
	織物類	百万円	151,665	75,638	73,962	-2.2
	二次製品他	百万円	4,531,541	2,100,362	2,222,944	5.8
	（うち衣類）	百万円	(3,675,336)	(1,655,098)	(1,804,725)	9.0
輸出レート		円/ﾄﾞﾙ	151.5	152.3	148.2	-2.7
輸入レート		円/ﾄﾞﾙ	151.1	151.9	148.7	-2.1

（出所）財務省

5）2025年上半期の化繊生産は前年同期比2.4%減の31.3万ﾄﾝとなった。うちセルロース繊維は同6.8%減の8.1万ﾄﾝ、合繊は同0.8%減の23.3万ﾄﾝであった。

合繊生産を品種別にみると、ナイロンFは同0.2%減の3.4万ﾄﾝ、ポリエステルFは同1.0%減の3.9万ﾄﾝ、ポリエステルSは同14.9%減の2.7万ﾄﾝ、アクリルSは同8.8%増の3.8万ﾄﾝとなった。

6月末在庫は全体で前年同期比12.4%減の9.0万ﾄﾝとなった。うちセルロース繊維は同4.6%減の3.0万ﾄﾝ、合繊は同15.9%減の6.0万ﾄﾝとなった。

化繊輸出（繊維原料〜二次製品）は前年同期比7.2%減の22.1万ﾄﾝとなった。

形態別は、繊維原料は同21.2%減の6.9万ﾄﾝ、糸類は同1.7%減の4.7万ﾄﾝ、織物類（面積ベース）は1.8%増の2.78億㎡、二次製品は同3.7%増の6.6万ﾄﾝであった。

品種別は、ナイロンFは同9.0%増、ポリエステルFは同1.3%減、ポリエステルSは同31.9%減、アクリルSは同5.1%増となった。化繊不織布は同5.0%増の3.2万ﾄﾝとなった。

化繊輸入（繊維原料～二次製品）は前年同期比 5.4％増の 74.2 万ﾄﾝ。
形態別は、繊維原料は同 2.2％増の 5.8 万ﾄﾝ、糸類は同 5.7％増の 9.9 万ﾄﾝ、織物類（面積ベース）は同 1.6％減の 2.87 億㎡、二次製品は同 6.3％増の 52.4 万ﾄﾝ、そのうち衣類は同 7.1％増の 21.1 万ﾄﾝとなった。
品種別は、セルロースＳは同 14.4％減、ナイロンＦは同 11.5％増、ポリエステルＦは同 6.3％増、同Ｓは同 0.4％減となった。化繊不織布は同 8.4％増の 12.9 万ﾄﾝとなった。

化学繊維の主要指標

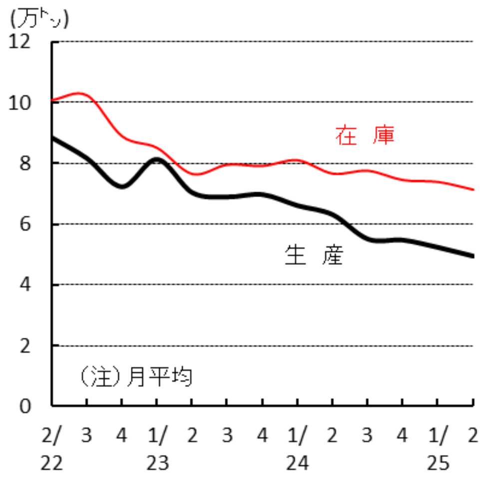
項　目		単　位	2024年	2024年 1～6月	2025年 1～6月	前年比（%）
化繊生産		ﾄﾝ	629,857	321,170	313,484	-2.4
	セルロース	〃	162,499	86,458	80,582	-6.8
	合繊	〃	467,358	234,712	232,902	-0.8
期末化繊在庫		〃	99,491	102,620	89,923	-12.4
	セルロース	〃	33,151	31,782	30,334	-4.6
	合繊	〃	66,340	70,838	59,589	-15.9
化繊輸出		ﾄﾝ	458,394	238,189	220,962	-7.2
		1000ﾄﾞﾙ	4,464,388	2,208,336	2,187,834	-0.9
		百万円	675,839	335,654	324,232	-3.4
	繊維原料	ﾄﾝ	152,606	87,786	69,210	-21.2
	糸類	〃	93,210	47,588	46,791	-1.7
	織物類	百万㎡	567,678	272,784	277,813	1.8
	二次製品	ﾄﾝ	133,336	63,960	66,346	3.7
化繊輸入		ﾄﾝ	1,553,381	703,790	741,540	5.4
		1000ﾄﾞﾙ	15,276,842	6,658,387	7,169,795	7.7
		百万円	2,305,256	1,010,731	1,066,645	5.5
	繊維原料	ﾄﾝ	116,898	57,103	58,366	2.2
	糸類	〃	190,775	93,975	99,315	5.7
	織物類	百万㎡	579,569	291,718	287,115	-1.6
	二次製品他	ﾄﾝ	1,126,110	492,997	523,824	6.3
	（うち衣類）	〃	508,532	197,219	211,178	7.1

（出所）経済産業省、財務省
（注）1.在庫は生産者在庫で各期末
　　　2.化繊輸出入の計には化繊くずを含む

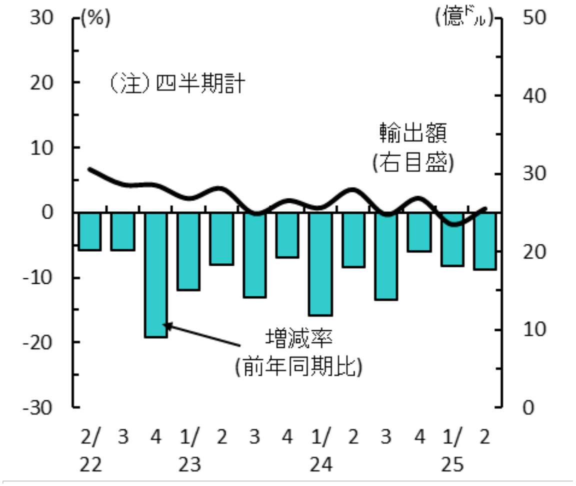
Ⅱ．海外の動向

1．韓　　国

合繊生産･在庫



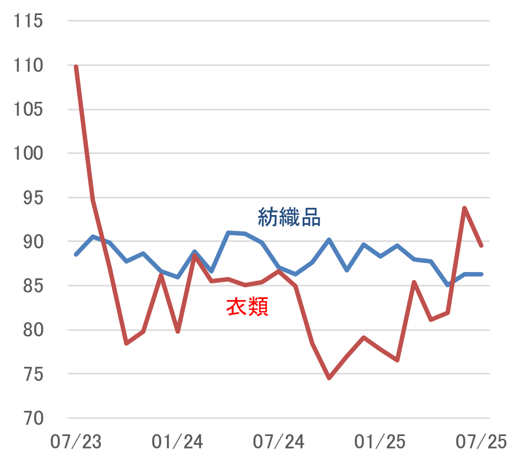
繊維品輸出



相手別繊維製品輸出
（2025年1～6月）

	輸出額（100万ﾄﾞﾙ）	前年比（%）
世界計	4,923	-7.6
ベトナム	1,003	-8.5
中国	683	-6.4
米国	662	-4.5
インドネシア	320	-6.0
日本	275	1.3

繊維産業の生産指数
（2020＝100）



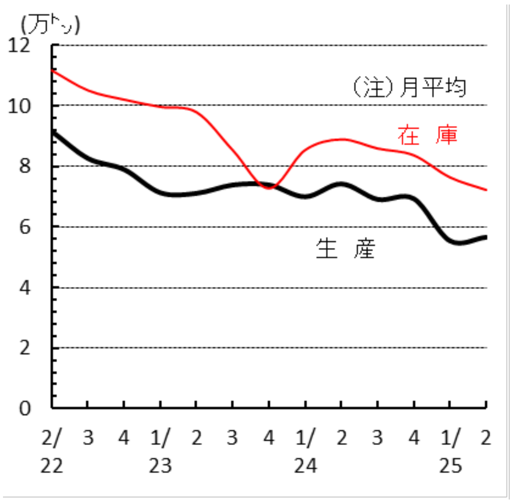
◆2025年上半期は、合繊生産、繊維品輸出とも減少が続いている。

◆2025年上半期（1-6月）の合繊生産は前年同期比21.1%減の30.5万ﾄﾝの大幅減となった。主要合繊の生産は、ナイロンFは同34.9%減の0.6万ﾄﾝ、ポリエステルFは同25.8%減の9.6万ﾄﾝ、ポリエステルSは同18.9%減の19.1万ﾄﾝ、アクリルSは同4.3%減の1.2万ﾄﾝであった。

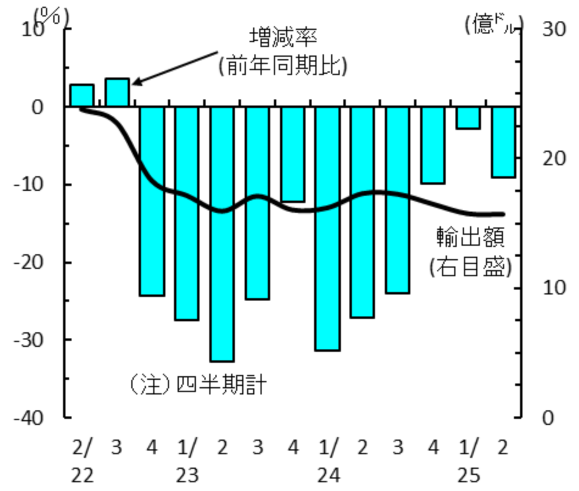
◆2025年上半期の繊維製品輸出は前年同期比7.6%減の49.2億ﾄﾞﾙとなった。主力仕向地のベトナムが同8.5%減、中国は同6.4%減、米国が同4.5%減など主力仕向け地はいずれも減少。一方、繊維品輸入は同0.4%減の88.7億ﾄﾞﾙとなった。

２．台　　湾

化繊生産･在庫



繊維品輸出



相手別繊維製品輸出
（2025年1～6月）

	輸出額（100万ﾄﾞﾙ）	前年比（%）
世界計	3,151	-6.1
ベトナム	925	-1.1
中国	340	-24.5
米国	305	5.2
インドネシア	212	-1.1
カンボジア	135	-11.7
日本	134	5.2

繊維産業生産指数・前年比

	2024年	2025年 1-6月
製造業全体	11.9	17.8
紡織産業	7.1	-2.5
衣類産業	-1.0	-7.7
化学産業*	-0.6	-3.7

＊化学繊維産業を含む

◆2025 年上半期の化繊生産は大幅減に転じ、繊維品輸出も不振であった。

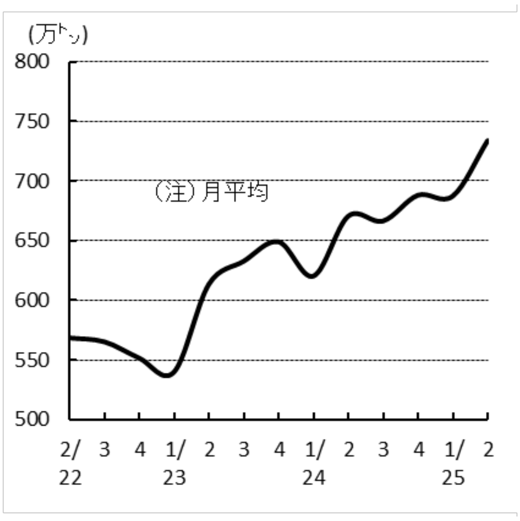
◆2025 年 1～5 月の化繊生産は前年同期比 23.4%減の 28.0 万ﾄﾝとなった。同期間の主要合繊の生産は、ナイロン F は同 18.8%減、ポリエステル F は同 9.9%減、ポリエステル S は同 46.1%減といずれも大幅減となった。

◆2025 年上半期の繊維製品輸出は前年同期比 6.1%減の 31.5 億ﾄﾞﾙ。相手別にみると、最大のベトナム向けは同 1.1%減、第 2 位の中国は同 24.5%の大幅減となった。第 3 位の米国向けは同 5.2%増と回復傾向。

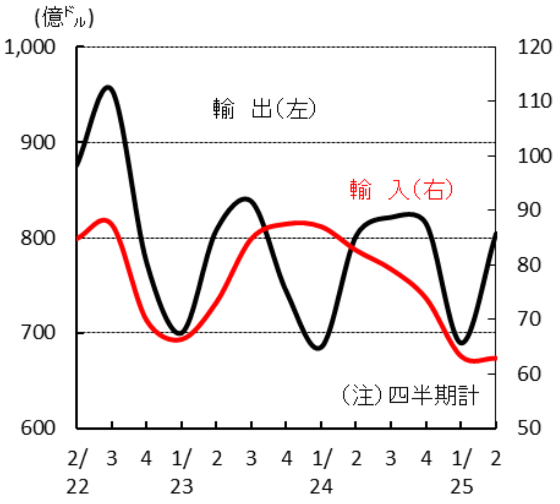
◆2025 年上半期の生産指数は、紡織産業、衣類産業ともは続落している。

３．中　　国

化繊生産の推移



繊維品貿易の推移



主要繊維生産
（ 1～6月）

	単位	生産	前年比（%）
化学繊維計	万ﾄﾝ	4, 236	4. 9
うち合成繊維計	万ﾄﾝ	3, 890	5. 0
紡績糸	万ﾄﾝ	1, 140	5. 0
織物	億m	154	0. 0
衣類	億点	-	0. 3
不織布	万ﾄﾝ	-	4. 5

繊維品輸出入実績
（1～6月）

	輸出（億ﾄﾞﾙ）	前年同期比（%）	輸入（億ﾄﾞﾙ）	前年同期比（%）
繊維品計	1, 492	0. 4	121	-30. 1
繊維原料	20	-5. 0	26	-52. 0
紡織品	708	2. 1	50	-12. 0
二次製品	764	-0. 2	46	-7. 3

◆2025 年上半期の規模以上の繊維企業の工業増加価値（GDP に相当）は前年同期比 3. 1%増となった。同期間の繊維企業の売上は同 3. 0%減、利益は同 9. 4%減と減収減益であった。全般的な繊維景況は、中国政府のマクロ政策効果もあり内需は比較的安定していたが、輸出は米中貿易摩擦の顕在化など、不透明感が強まった。

◆2025 年上半期の主要繊維生産は、化学繊維は前年同期比 4. 9%増の 4, 236 万ﾄﾝと続伸した。紡績糸は同 5. 0%増、織物は同横ばい、衣類は同 0. 3%増となった。

◆2025 年上半期の繊維品輸出は前年同期比 0. 4%増の 1, 492 億ﾄﾞﾙの微増となった。二次製品輸出は主力の米国向けで追加関税の影響から落ち込んだが、紡織品輸出はＥＵ、東南アジア等向けを中心に堅調に推移した。繊維品輸入は同 30. 1%減の 121 億ﾄﾞﾙの大幅減となった。2025 年上半期の化繊輸出量は同 4. 1%減の 300. 8 万ﾄﾝと減少に転じた。

繊維業界の主要指標
（ 1～6月）

	単位	指標	前年比（%）
紡織産業売上額	億元	11,245	-1.9
衣類産業売上額	億元	5,649	-1.4
化繊産業売上額	億元	5,258	-6.9
紡織産業利益額	億元	302	-8.1
衣類産業利益額	億元	209	-12.9
化繊産業利益額	億元	128	-2.8
紡織産業実際投資	前年比	-	14.5
衣類産業実際投資	前年比	-	27.0
化繊産業実際投資	前年比	-	10.6

規模以上社会小売財消費総額
（ 1～6月）

	単位	数値	前年比（%）
商品売上総額	億元	245,458	5.0
うち服装類	億元	7,426	3.1

繊維関連物消費者物価指数
（ 1～6月）

	前年同期比（%）
消費者価格指数・全製品	-0.1
消費者価格指数・衣類等	1.3

◆繊維産業の主要経営指標をみると、2025 年上半期の売上額は、紡織、衣類、化繊産業それぞれ前年同期比 1.9％減、1.4％減、6.9％減、利益額は紡織、衣類、化繊産業それぞれ 8.1％減、12.9％減、2.8％減といずれのセクターでも減収減益となった。2025 年上半期の投資額は、紡織が同 14.5％増、衣類が同 27.0％増、化繊は同 10.6％増といずれも 2 桁増となった。化繊産業の投資では、老朽設備の移転・改造が中心であり、新規能力増はポリエステル長繊維（約 85 万㌧/年）が中心であり、供給圧力は若干緩和されている。

◆2025 年上半期の社会小売材消費総額（服装類）は前年同期比 3.1％増、インターネット衣類商品販売額は同 1.4％増といずれも増加した。国潮・国風、健康繊維、グリーン・低炭素分野の消費は堅調となった。衣類等の消費者価格指数は前年同期比 1.3％増であった。

４．米　国

・輸　　入

2025 年の 1～7 月の繊維製品輸入は前年同期比 2.9%増の 614.2 億ﾄﾞﾙとなった。

仕出地別にみると、主要仕出国・地域である ASEAN がベトナム（17.8%増、104.1 億ﾄﾞﾙ）、インドネシア（16.2%増、30.6 億ﾄﾞﾙ）などの増加により、17.7%増の 178.2 億ﾄﾞﾙと大幅に増加した。いっぽうで、中国が 19.9%減、112.1 億ﾄﾞﾙと大幅に減少した。インド（11.4%増）、バングラデシュ（21.1%増）は 2 桁増となった。

衣類の輸入も 5.0%増の 458.0 億ﾄﾞﾙと増加した。仕出地別では ASEAN が 17.5%増の 155.3 億ﾄﾞﾙと大幅に増加、バングラデシュ（21.7%増）、インド（16.1%増）も 2 桁増となったが、中国は 21.1%減の 69.2 億ﾄﾞﾙと大幅に減少した。

繊維製品輸入実績（１～７月）

（100万ﾄﾞﾙ）

繊維製品計				うち衣類			
仕出地	2024年	2025年	前年比(%)	仕出地	2024年	2025年	前年比(%)
ASEAN	15,135	17,817	17.7	ASEAN	13,222	15,533	17.5
ベトナム	8,836	10,407	17.8	ベトナム	8,087	9,460	17.0
インドネシア	2,632	3,058	16.2	インドネシア	2,284	2,669	16.8
中国	13,997	11,208	-19.9	カンボジア	1,907	2,373	24.4
インド	5,582	6,219	11.4	中国	8,772	6,923	-21.1
バングラデシュ	4,216	5,105	21.1	バングラデシュ	4,094	4,982	21.7
EU	3,115	3,182	2.1	インド	2,847	3,305	16.1
世界	59,715	61,420	2.9	世界	43,625	45,800	5.0

（出所）米商務省

・企業・業界動向

- 米国国立標準技術研究所（National Institute of Standards and Technology – NIST）は繊維リサイクル施設で選別プロセスの速度と精度を向上させるため、さまざまな繊維の固有の分子特性を整理したデータベースを作成。
- Universal Fibers, Inc.はナイロン６６の原糸および原着糸の生産能力を増強。米国では 2024 年に Ascend Performance Materials がサウスカロライナ州 Greenwood の自社工場での産業用繊維の生産を停止しており、Universal Fibers は独立したナイロン６６BCF メーカーとしては米国で唯一の存在。
- 加工糸メーカーUnifi はノースカロライナ州 Madison の自社工場の閉鎖と、同工場のナイロン糸仮撚り加工、スパンデックスのカバーリングなどの機材の移転による事業継続を発表、このほど同工場の第三者への売却が完了した。
- 大手ナイロン 66 メーカーAscend Performance Materials（本社：Texas 州）は、連邦破産法第 11 章（Chapter 11）に基づく任意再建手続きを開始。

５．欧　州

・輸　　入

2025 年 1～6 月期の EU27 域外繊維製品輸入は、前年同期比 10.7%増の 628 億ﾕｰﾛと増加した。仕出地別にみると中国（181 億ﾕｰﾛ、18.2%増）の他、バングラデシュ（106 億ﾕｰﾛ、18.2%増）、ASEAN（74 億ﾕｰﾛ、16.8%増）など主要国・地域からの輸入は 20%近い増加となった。一方でトルコが 68 億ﾕｰﾛ、5.5%減と減少し、ASEAN を下回った。

最大仕出国である中国の域外輸入全体に占める割合は 28.7%と前年同期の 26.9%から増加した。

EU27の域外繊維製品輸入（2025年1～6月期）

（100万ﾕｰﾛ、%）

国・地域	2022	2023	2024	2025	前年比
世界計	68,369	60,644	56,757	62,825	10.7
中国	20,273	16,568	15,284	18,058	18.2
バングラデシュ	10,702	9,439	8,962	10,589	18.2
ASEAN	7,535	6,482	6,293	7,350	16.8
ベトナム	2,371	2,310	2,230	2,659	19.2
カンボジア	1,570	1,447	1,623	2,112	30.1
ミャンマー	1,076	1,039	877	886	1.0
インドネシア	843	667	601	647	7.7
タイ	604	431	404	454	12.3
マレーシア	869	386	374	387	3.4
トルコ	8,991	7,839	7,177	6,781	-5.5
インド	4,505	3,970	3,754	4,267	13.7
英国	1,528	1,660	1,652	1,588	-3.9
モロッコ	1,614	1,449	1,438	1,465	1.9
チュニジア	1,328	1,492	1,322	1,305	-1.3
米国	900	1,165	1,128	1,125	-0.3
スイス	825	1,005	783	676	-13.7
エジプト	544	512	515	604	17.2
日本	509	538	504	545	8.2
韓国	715	580	464	452	-2.5

（出所）Eurostat

企業・業界動向

- 2 月 26 日、欧州委員会は、業競争力強化と脱炭素化の両立を目指す新たな戦略「Clean Industrial Deal（クリーン産業ディール）」を発表。エネルギーコストの高騰や不公平な国際競争に直面する EU 産業を支援し、2050 年までの脱炭素経済を実現する指針となるとしている。同日、EURATEX（欧州繊維産業連盟）は、Clean Industrial Deal の中で、繊維産業を守るために取り組むべき 4 つの重要な優先課題を提示した。
- Freudenberg Performance Materials は 2020 年に買収し子会社したコーティング機能性テキスタイルメーカーMehler Texnologies について 2025 年中に Fulda の自社工場を閉鎖することを明らかにした。